

# 經濟情報： 日銀短觀(2023年3月調査)

2023年4月3日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室

# 1. 要旨

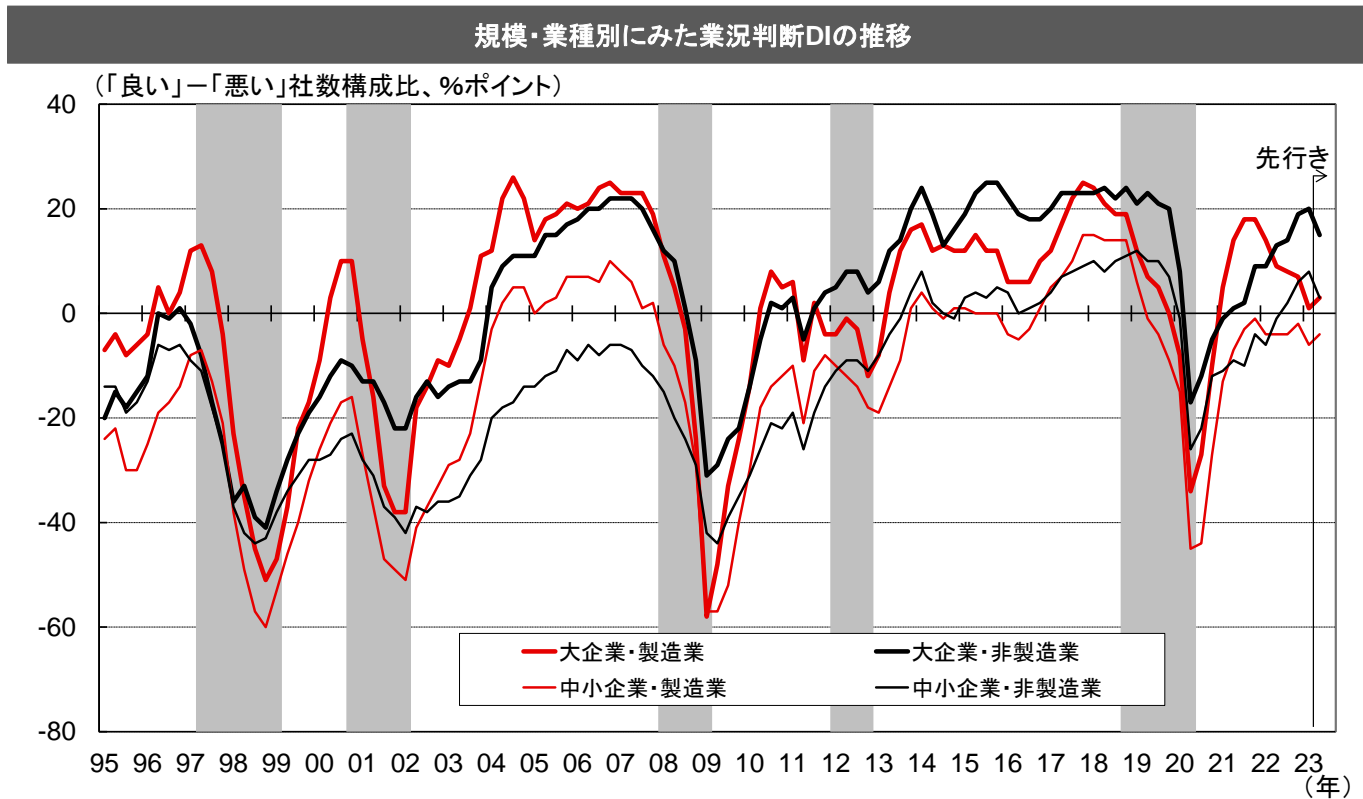
- 日銀短観3月調査(調査期間:2月27日~3月31日)は、製造業における外需の減少が景気の下押し要因となりつつも、「ウィズコロナ」を前提とした経済活動正常化の進展により、非製造業を中心に景気が緩やかな回復を続けていることを示す結果。
- 大企業の「最近」の業況判断DI(「良い」-「悪い」社数構成比)は、製造業は前回調査比▲6%ポイントの1%ポイント、非製造業は同+1%ポイントの20%ポイント。製造業は外需の減少等を背景に悪化するも、非製造業は経済活動正常化やインバウンド需要の回復により小幅ながら改善。
- 先行き、海外経済の減速は景気の重石となるものの、経済活動正常化や賃上げによる個人消費の持ち直しの継続、堅調な企業収益を背景とした設備投資の増加などにより、景気は緩やかな回復を続ける見通し。但し、欧米における利上げや金融システムへの不安により、世界経済が想定以上に悪化した場合には、日本経済も更に下押しされる点には留意が必要。

日銀短観の主な調査項目の推移							
	企業規模	業種	2022年 6月調査	2022年 9月調査	2022年 12月調査	2023年 3月調査	変化幅 (修正率)
「最近」の業況判断DI (「良い」-「悪い」社数構成比、 %ポイント)	大企業	全産業	11	11	13	10	▲3
		製造業	9	8	7	1	▲6
		非製造業	13	14	19	20	+1
	中小企業	全産業	▲2	0	4	3	▲1
		製造業	▲4	▲4	▲2	▲6	▲4
		非製造業	▲1	2	6	8	+2
経常利益計画(前年度比、%)	全規模	全産業、2022年度	▲3.6	1.1	7.5	7.9	(+0.4)
		全産業、2023年度	—	—	—	▲2.6	—
設備投資計画(前年度比、%)	大企業	全産業、2022年度	18.6	21.5	19.2	16.4	(▲2.3)
		全産業、2023年度	—	—	—	3.2	—

(注)『設備投資計画』は、含む土地、除くソフトウェアベース。  
(資料)日本銀行統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 2. 業況判断DI ①全体

- 大企業・製造業の業況判断DIは、前回調査比▲6%ポイントの1%ポイント。供給制約の緩和等により「自動車」では改善が続いているものの、外需の減少や資源価格の上昇が全般に悪影響を与えているとみられる。一方、大企業・非製造業は同+1%ポイントの20%ポイントと改善。コスト高により「運輸」は悪化したものの、経済活動の正常化やインバウンド需要の回復に伴い、「小売」や「対個人サービス」が改善。
- 大企業の業況判断DIの3ヵ月後の見通しについて、小幅な改善を見込む製造業では、中国の経済活動正常化や資源価格の下落が下支え要因になるとみられる。一方、非製造業では悪化を見込むも、経済活動正常化の継続により「対個人サービス」や「宿泊・飲食サービス」では改善を予想する向きが多い。



(注) 網掛け部分は景気後退期間。

(資料) 日本銀行統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 2. 業況判断DI ②業種別

### 業種別にみた業況判断DI

(「良い」-「悪い」社数構成比、%ポイント)

大企業 製造業	2022年12月調査		2023年3月調査			
	最近	先行き	最近	(変化幅)	先行き	(変化幅)
製造業全体	7	6	1	(▲6)	3	(2)
繊維	▲3	6	▲3	(0)	7	(10)
木材・木製品	▲7	▲13	▲20	(▲13)	▲13	(7)
紙・パルプ	▲22	▲15	▲25	(▲3)	▲3	(22)
化学	8	0	▲1	(▲9)	0	(1)
石油・石炭製品	▲33	▲20	▲46	(▲13)	▲13	(33)
窯業・土石製品	10	▲5	▲2	(▲12)	▲3	(▲1)
鉄鋼	18	13	13	(▲5)	3	(▲10)
非鉄金属	6	9	▲3	(▲9)	3	(6)
食品	▲8	▲6	▲11	(▲3)	▲5	(6)
金属製品	8	0	0	(▲8)	▲6	(▲6)
はん用機械	31	23	16	(▲15)	9	(▲7)
生産用機械	30	28	24	(▲6)	17	(▲7)
業務用機械	30	25	30	(0)	22	(▲8)
電気機械	18	12	3	(▲15)	6	(3)
造船・重機等	▲12	▲8	▲8	(4)	▲3	(5)
自動車	▲14	▲11	▲9	(5)	0	(9)

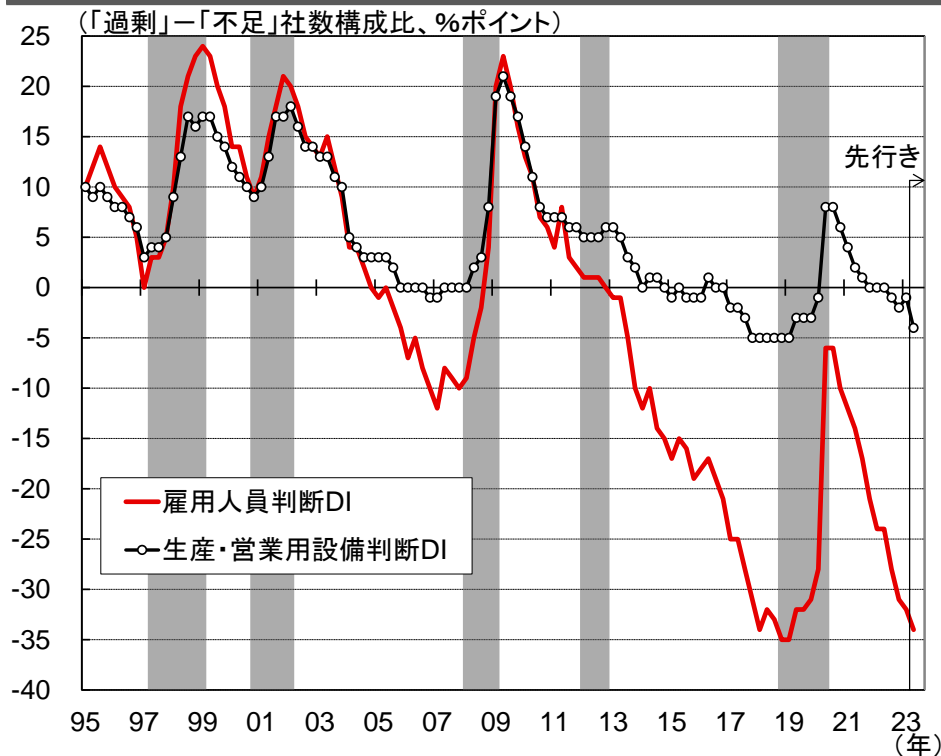
大企業 非製造業	2022年12月調査		2023年3月調査			
	最近	先行き	最近	(変化幅)	先行き	(変化幅)
非製造業全体	19	11	20	(1)	15	(▲5)
建設	21	12	21	(0)	13	(▲8)
不動産	27	19	30	(3)	25	(▲5)
物品賃貸	27	20	33	(6)	20	(▲13)
卸売	27	13	27	(0)	12	(▲15)
小売	8	9	18	(10)	11	(▲7)
運輸・郵便	17	5	10	(▲7)	10	(0)
通信	14	21	14	(0)	21	(7)
情報サービス	40	36	42	(2)	39	(▲3)
電気・ガス	▲17	▲17	▲15	(2)	▲19	(▲4)
対事業所サービス	35	31	30	(▲5)	28	(▲2)
対個人サービス	20	14	24	(4)	35	(11)
宿泊・飲食サービス	0	▲18	0	(0)	13	(13)
中小企業	2022年12月調査		2023年3月調査			
	最近	先行き	最近	(変化幅)	先行き	(変化幅)
製造業全体	▲2	▲5	▲6	(▲4)	▲4	(2)
非製造業全体	6	▲1	8	(2)	3	(▲5)

(注)1.『最近』の「変化幅」は、直近調査の最近判断DIから前回調査の最近判断DIを引いたもの。  
 2.『先行き』の「変化幅」は、直近調査の先行き判断DIから直近調査の最近判断DIを引いたもの。  
 (資料)日本銀行統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

### 3. 設備・雇用判断DI、経常利益計画

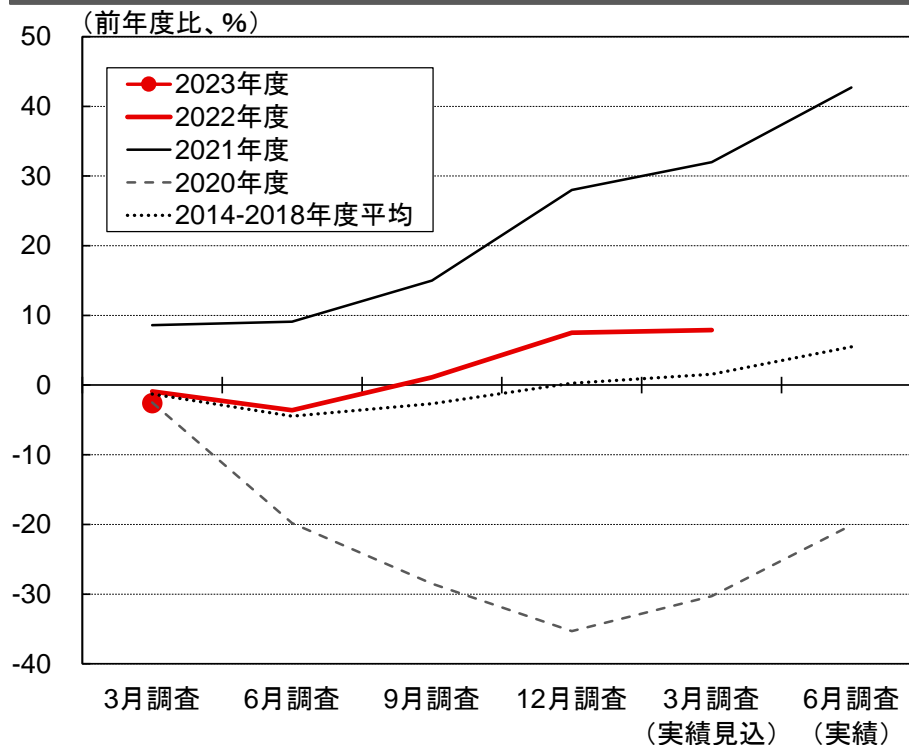
- 全規模・全産業ベースでみた、設備ストックの過不足感を表す生産・営業用設備判断DI(「過剰」-「不足」社数構成比)は▲1%ポイント(前回調査比+1%ポイント)と不足感は小幅に緩和したが、3ヵ月後の見通しは▲4%ポイントと設備ストックの不足感は強まる見通し。雇用の過不足感を示す雇用人員判断DI(同)は▲32%ポイント(同▲1%ポイント)と、コロナ禍前に比べ不足超幅はやや小さいものの、3ヵ月後の見通しは▲34ポイントと、景気回復の継続に伴い雇用の不足感も引き続き増す方向。
- 2022年度の経常利益計画は全規模・全産業ベースで前年度比+7.9%で着地見込み。2023年度は同▲2.6%、製造業では同▲2.7%、非製造業でも▲2.6%と減益を見込む。製造業では海外経済減速への懸念、非製造業ではコスト上昇や人手不足等が影響しているとみられる。今年度の事業計画の前提となる想定為替レートは、全規模・全産業ベースで1ドル131.72円と実勢(133円程度)比ではやや円高水準。

全規模・全産業の生産・営業用設備判断DIと雇用人員判断DIの推移



(注)網掛け部分は景気後退期間。  
(資料)日本銀行統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

全規模・全産業の経常利益計画の推移

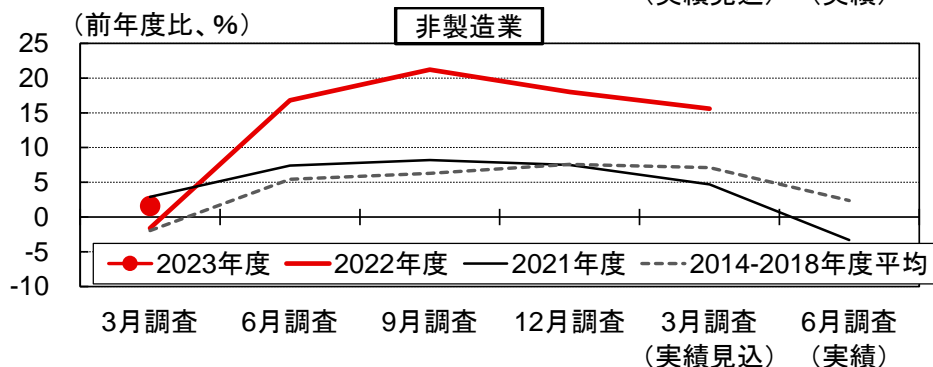
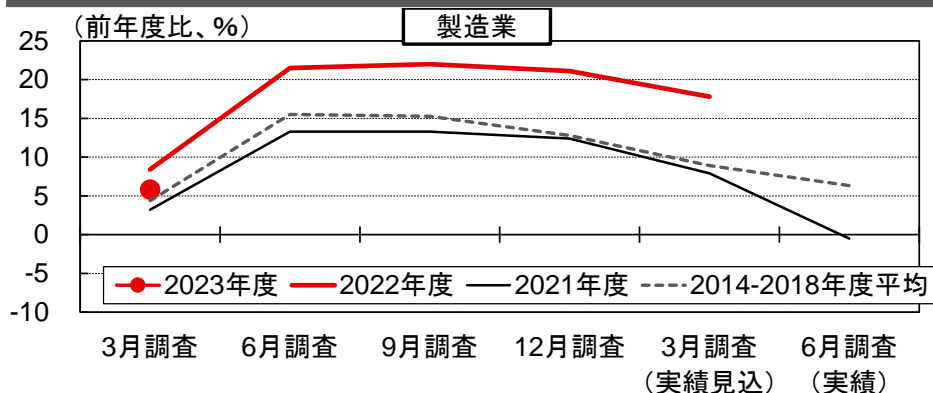


(資料)日本銀行統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 4. 設備投資計画、販売価格

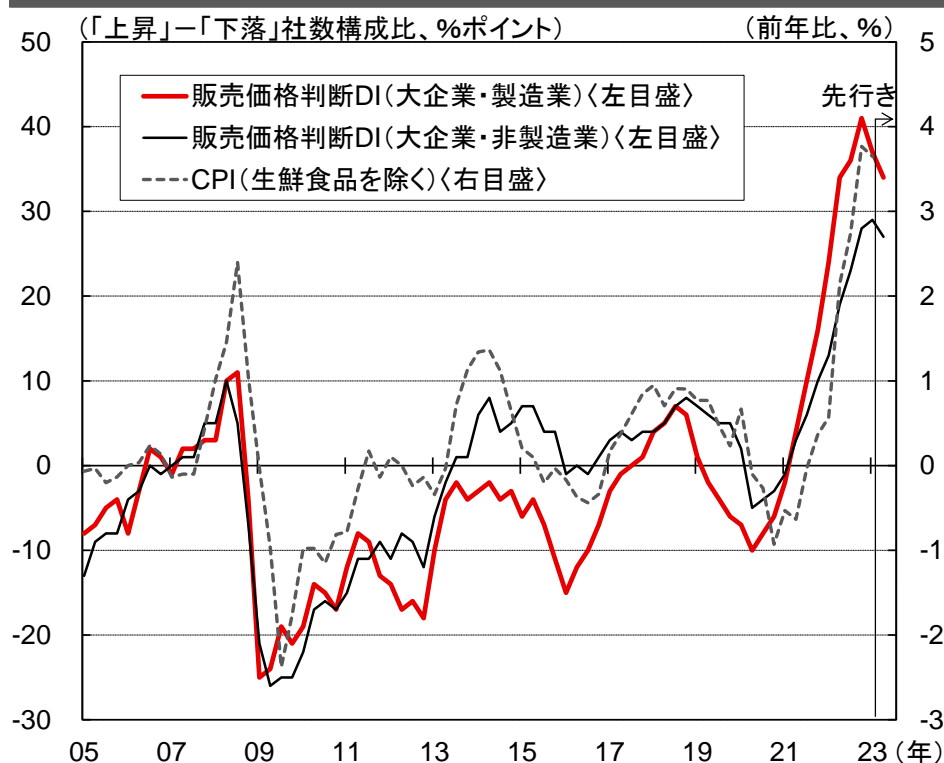
- 2022年度の設備投資計画(含む土地、除く研究開発・ソフトウェア)は大企業・全産業ベースで前年度比+16.4%で着地見込み。2023年度も、減益が見込まれるなかでも同+3.2%と高めの計画。業種別にみると、2023年度は製造業では同+5.8%、非製造業でも、生産・営業用設備判断DIが不足超圏で推移するなか、同+1.6%と増加を見込む。
- 大企業の販売価格判断DIについて、製造業は37%ポイント(前回調査比:▲4%ポイント)、非製造業は29%ポイント(前回調査比:+1%ポイント)。輸入価格はピークアウトしたものの依然高水準にあり、3ヵ月後の見通しでも、足元からの低下幅は限定的。

業種別にみた大企業の設備投資計画の推移



(注)含む土地、除く研究開発・ソフトウェアベース。  
(資料)日本銀行統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

全規模・全産業の販売価格判断DIと消費者物価指数(CPI)の推移



(注)CPIは消費税調整済系列、2023年1-3月期は1-2月の平均値を参照。  
(資料)日本銀行、総務省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

---

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室  
〒100-8388 東京都千代田区丸の内2-7-1

照会先：矢吹 彩            e-mail: sai\_yabuki@mufg.jp